

売高 1月

帝国データバンクによれば、1月の景気DIは前月比1.1ポイント減の33.9となり、2カ月連続で悪化した。国内景気は、11都府県で2回目となる緊急事態宣言が発出され、外出自粛や飲食店を中心とした営業時間の短縮要請などが実施されたことで、再び下押し圧力が強まった。

10業界中、「金融」を除く9業界が悪化した。11都府県で緊急事態宣言が発出され、個人消費関連の業種で景況感がさらに下押しされた。

「南関東」「北陸」「近畿」など9カ月ぶりに全10地域がそろって悪化した。11都府県で緊急事態宣言の再発出で個人消費関連が大きく落ち込んだほか、日本海

側を中心とした寒波や記録的な大雪などが下押し要因となった。都道府県別では37都府県が悪化した。規模別では「大企業」「中小企業」「小規模企業」がいずれも2カ月連続で悪化した。

今後1年程度の国内景気は、緊急事態宣言の延長による影響のほか、社会経済活動の抑制などにもなる下振れリスクを抱えつつ推移すると見込まれる。新型コロナウィ

経済活動の正常化に向けた動きに加え、自宅内消費など新しい生活様式に対する需要の拡大、米国や中国など海外経済の回復などはプラス要因になるとみられる。

食料品16カ月連続減

菓子も12カ月連続減

百貨店

(一社)日本百貨店協会によると、1月の売上総額は約3265億円(前年同月比29.7%減)で、前月より16.0ポイントダウンした。11都府県に再発出された「緊急事態宣言」により、対象地区所在店舗で実施した営業時間短縮や、主要顧客である高齢層の外出自粛などが集客(入店客数約40%減)に大きく影響した。EC売上は各社の積極的な施策も奏功し大幅に伸びている。

内食化需要が続き

スーパーマーケット

日本チェーンストア協会によると、1月のチェーンストア販売概況(会員企業56社、1万997

外の地区/3カ月連続)、緊急事態宣言対象地区の多くが含まれる大都市は32.1%減(10都市/16カ月連続)となり、その差(8.9ポイント)は前月よりさらに1.4ポイント広がった。

先行販売や限定品が好評。急伸するEC売上が牽引し健闘している。

食品製造業の生産動向

(2021年1月)

食品供給研究センター

(一社)食品供給研究センターは、食品製造業を対象に調査した「食品製造業の生産動向」2021年1月分を公表した。品別の生産量は次のとおり(以下抜粋、カッコ内は前年同月比増減率)。

▲5.1%▽小麦でん粉1134ト(▲1.2%)
▽米穀類6546ト(▲10.6%)
▽パン10万3557ト(▲1.7%)
▽生めん類5万7644ト(▲0.5%)
▽乾めん類1万5517ト(▲2.4%)
▽即席めん類3万6618ト(▲10.0%)
▽マカロニ類1万3081ト(▲0.1%)
▽コーヒー飲料等20万3066ト(▲6.6%)
▽コーヒードリンク等20万3066ト(▲6.6%)

406ト(▲18.8%)
▽紅茶飲料10万4951ト(▲4.4%)
▽緑茶飲料(44.4%)
▽ソフト系(クッキーを含む)5063ト(▲7.0%)
▽クラッカー系473ト(▲10.9%)
▽乾パン197ト(▲21.5%)
▽パイ加その他9477ト(▲0.0%)

調理食品類▽加工米飯2万9584ト(▲3.1%)
▽包装もち3286ト(▲29.7%)

全店・既存店ともに

11カ月連続のマイナス

11都府県を対象とした11都府県統計調査月報によると、既存店ベースの売上高8150億2100万円(前年同月比4.9%減)であった。全店ベースの売上高は8509億8400万円(▲3.9%減)、店舗数は5万5911店(0.6%増)、来店客数12億114万3000人(12.5%減)、平均客単価は708.5円(9.8%増)。

CVS

(一社)日本フランチャイズチェーン協会が発表

小林香料

1月度は、帰省自粛や新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が再発令されたことから、外出自粛などに伴い、内食化需要が

TOP Interview

太陽誘電ケミカルテクノロジー

代表取締役社長 石黒利昭氏

世界的な電子部品メーカーとして知られる太陽誘電。その子会社である太陽誘電ケミカルテクノロジ(群馬県高崎市)が開発した表面処理技術「JCコート」が菓子・食品業界で大きな注目を浴びている。驚異の撥水撥油性を聞きつけた米菓メーカーは既に導入を開始。製造ライン機器のクリーニングに革命的インパクトをもたらす、省人化と省力化に大きな成果を収めている。同社の「JCコート」の魅力とは何か。石黒利昭社長に聞いた(前編)。



世界の太陽誘電が誇る微細加工技術

本紙 太陽誘電といえば、いまやモバイルネットワーク社会に不可欠な積層セラミックコンデンサの分野で世界的に有名

な企業ですが、どのような理由で、どのような技術で菓子・食品業界に挑もうとされているのかをお聞かせください。

はじめに、御社の沿革などを教えてください。

石黒 戦後間もない1950年(昭和25年)、初代社長の佐藤彦八が太陽誘電を創業し、電子部品を中核に研究開発型企業として発展しました。特に積層コンデンサの分野では、セラミックの分野では、セラミックの材料粒子を均一サイズに微細化する事で、同容量での小型化を実現しています。数ミクロンの電極シートを何層も重ねた超小型のコンデンサがあるからこそ、モバイルネットワーク社会の主役

であるスマートフォン自体が「5G時代」をやるわけですね。石黒 「JCコート」と迎えたスマートフォンやそれらの中継基地、さらにはパソコンや自動車の自動運転などの需要も後押しとなり、弊社としての積層セラミックコンデンサの商品化を実現して

「JCコート」が「JCコート」へとつな

本紙 「JCコート」を

本紙 「JCコート」を

驚異のJCコート!

新潟米菓メーカーも導入

世界では、太陽誘電が手掛ける電子部品製品がめづき処理を専門に行う子会社として1970年に誕生し、2015年に現在の社名に変わりました。

「JCコート」が

本紙 まさにナノテク

本紙 「JCコート」を

本紙 「JCコート」を

本紙 「JCコート」を

本紙 「JCコート」を

販売額5877億円、前年同月比3.4%増

ドラッグストア

経済産業省が発表した商業動態統計速報によると、1月のドラッグストア販売額は5877億7777円、前年同月比でみると3.4%の増加となった。食品は1765億円で11.0%増加。健康食品は182億円で4.8%減少となった。

総売上高15.4%増

食料品は19.2%増

日本通信販売協会によると、1月度の総売上高は1266社、1182億5300万円となり、前年同月比でみると15.4%増加した。食料品は19.2%増加した。